

# Formula Blue

YAMAHA 5L KARTING

全日本カート選手権 FS125 部門西地域第5戦神戸大会

■開催日：8月25日～26日

■天候：晴れ ■参加台数：22台

## 清水英志郎が地元で今季3勝目&ランキングトップへ！ 居附明利も2位に入り Formula Blue1-2フィニッシュ！！

全日本カート選手権 FS125 部門西地域第5戦神戸大会が、8月25日～26日の2日間、兵庫県・神戸スポーツサーキットで開催された。西地域は今回が最終戦となる。会場の神戸スポーツサーキットは、今年で4年目の全日本選手権開催となるが、過去3年の開催時には神戸をホームコースとする清水英志郎が、FP-Jrカデット、FP-Jr、FS-125とステップアップしながら常に優勝を飾り、未だ負け知らず。絶対の自信を持つコースでもある。今回も優勝争いは清水が中心となることが予想された。

### Time Trial/Qualifying Heat

22台のエントリーを集めた今大会はタイムトライアルも1グループでのアタックとなる。神戸スポーツサーキットは、細かいコーナーが連続するテクニカルレイアウトのため、如何に前後に他車のいないクリアラップを作りタイムアタックするかがカギとなる。計測開始とともに、全車が一齐にコースに入り走行を開始する。清水と居附もコースに入り、早速タイムアタックを開始する。

7分間の計測時間を最大限に使い、9周を周回しアタックを繰り返した両ドライバーだったが、清水が8周目に記録した41秒766が総合1位のタイムとなり、予選ヒートのポールポジション

を獲得する。

さらに居附も最後の最後となる9周目のアタックで自己ベスト更新し総合2位、清水と共にフロントローを獲得する。

その予選ヒートでは、清水が好ダッシュからレースをリードし、直後に居附が続く展開となる。両者は僅差のテール to ノーズで1-2フォーメーションを保ったまま周回を重ねると、そのまま清水1位、居附2位でチェッカーを受ける。

決勝のスターティンググリッドも、清水ポールポジション、居附2ndポジションとフロントローに並ぶこととなった。

### Final Heat

午後、最も暑くなる14時過ぎに、26週の予定でスタートした決勝ヒートでは、イン側ポールポジションスタートの清水の加速がやや鈍った隙を見逃さず、アウト側から前に出た居附が1コーナーをトップで通過する。清水は、居附の直後に続き、1-2フォーメーションを形成する。

そのまま6周目まで居附が引っ張ったレースだったが、上位陣の順位が落ち着き、3番手以下がやや離れたことを見極めた清水が、6周目のバックストレートエンドで居附をかわしてトップに浮上する。今度は清水を先頭とした1-2フォーメーションとなるが、2番手となった居附も清水から引き離されることはなく、ピッタリとマークしながら周回を重ねていくが、セッティングを後半重視としていた居附は、中盤にやや清水から離れてしまう。

ペースで勝る清水は若干のリードを手にしたものの、実はステアリングが緩むトラブルを抱えての走行で、決して盤石な状態ではなかった。それでも後続と一定の間隔を保ち、トップを維持したまま周回を重ねていく。居附と3番手との間隔は0.5秒ほどに開き、トップ2台のポジションは揺るぎないものとなる。



マシントラブルを抱えながらも、ペースを落とさなかった清水は、最後は約1秒のリードにまで広げチェッカーを受け、今季3勝目を獲得する。居附も2位に入り、ヤマハ「Formula Blue」スカラシッププログラム初年度にして初の決勝1-2フィニッシュを達成した。

今回の完全優勝により、清水はランキングトップで西地域シリーズを終え、11月の鈴鹿での東西統一戦ではシリーズチャンピオン有力候補として臨むこととなる。また居附も全日本ルーキーながら西地域ランキング6位まで順位を上げ、東西統一戦で東地域勢を迎え撃つこととなった。



## 6 Formula Blue Team Nagao



清水英志郎 (チームナガオ / 兵庫県出身 / 15 歳)

地元コースということで、毎年優勝する度に期待値が上がりプレッシャーも大きかったのですが、パーフェクナ勝ち方ができました。最高の結果で終わることができ良かったです。決勝のスタートは自分がミスしてしまいましたが、序盤のペースは良かったので、まずは3番手以下を引き離し、1-2体制を確立してから仕掛けようと考えていました。鈴鹿統一戦は東地域の選手も来ますし、全く予想ができませんが、できる限りのことをして、優勝しチャンピオンを獲得できるように頑張ります。

チーム代表：長尾 貢【ナガオカート】



地元だけあって優勝できる自信を持って臨みました。レースですので、何が起るかは分かりませんが、問題なく走ってくれホッとしています。予選、決勝共に周回の早い段階で後ろを離したので、安心して見ていられたところもありますが、居附選手もだいぶ速くなってきていますので、次回の鈴鹿での東西統一戦は決して楽観視はできないと思います。シリーズチャンピオン獲得へ向け、しっかりと取り組み、頑張ります。

## 25 Formula Blue Ash



居附明利 (Ash/ 愛知県出身 / 16 歳)

悔しいですが、清水選手のホームコースでそれほど差が開かなかったのが良かったです。スタートはアウト側スタートで、このコースは狭いため弾かれやすいと思い、できるだけイン側に行こうと決めていました。トップに出るからは、後ろを離したいと思っていましたが、清水選手に抜かれてしまいました。その後は1-2で走っていきけるように、3番手以下を引き離すことを考えていました。次戦鈴鹿では、東地域の強い選手が来るのを楽しみにしながら、一所懸命走りしたいと思います。

チーム代表：築山 敬【かあと小僧】



良いレースでした。こういったレースが続くと良いと思います。今回は Formula Blue で 1-2 フィニッシュと、理想の結果となりました。この勢いのまま最終戦の鈴鹿も頑張って欲しいと思っています。本人も「ハイグリップタイヤの走らせ方に慣れてきた」と言っているように、ドライバーとして成長していると思います。次戦鈴鹿では 1 位を獲れるように頑張ります。

### 全日本カート選手権西地域第 5 戦 RESULTS

Pos.	No.	Driver	Team	T.T.	Q.H.
1	⑥	清水英志郎	Formula Blue Team Nagao	41.766 ①	1
2	②⑤	居附 明利	Formula Blue Ash	41.784 ②	2
3	⑱	辻本 始温	SUCCEED SPORTS Jr.	41.794 ③	3

### 全日本カート選手権西地域ポイントランキング

Pos.	Driver	Team	Points
1	清水英志郎	Formula Blue Team Nagao	141
2	高木 悠帆	SUCCEED SPORTS Jr.	129
3	渡部 樹	TAKAGI PLANNING	116
6	居附 明利	Formula Blue Ash	78

## EVENT CALENDAR

	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	FINAL
East	22/Apr. MOTEGI	3/Jun. HONJO	1/Jul MOBARA	5/Aug. MOGAMIGAWA	9/Sep. SUGO	18/Nov. SUZUKA
West	1/Apr. BIWAKO	20/May NAKAYAMA	17/Jun. APG	15/Jul. MIZUNAMI	26/Aug. KOHBE	